

動物愛護劇と絵画展

動物愛護週間にお届けする
子ども達に見ていただきたい演劇公演

どなたでも
入場無料
お子様も大歓迎！



吾輩は地域猫である

原作・脚本：中村あかね 脚本・演出：前田繁之

〈日程〉

2022.09.24(土) ①14:00~ / ②19:00~

2022.09.25(日) ③10:00~

※上演時間、約90分。開場は開演の1時間前。

〈場所〉

福岡市立中央市民センター 3F ホール
(福岡県福岡市中央区赤坂2丁目5-8)

〈受付〉

各回先着200名 全席自由席 (8月1日より受付開始)

※定員になり次第、締切いたします。

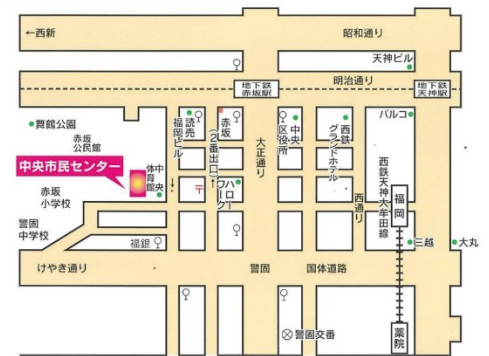
電話、ファックス、来所にて受付します。

氏名・年齢・連絡先電話番号をお知らせください。

〈お問い合わせ〉

福岡市立中央市民センター指定管理者(株)シンコー
〒810-1142 福岡市中央区赤坂2丁目5-8
TEL:092-714-5521 FAX:092-714-5502

センターへのご案内



地下鉄「赤坂」2番出口及び西鉄バス「赤坂門」バス停から徒歩5分
国道道路「警固町」バス停から徒歩3分

※ 駐車場(有料)あり。できる限り公共交通機関をご利用ください。



『地域猫』とは、特定の飼い主がない猫で、その猫が住みつく地域の住民たちの協力によって、繁殖制限(不妊・去勢手術)が施され、飼育管理されている猫のことです。



吾輩は地域猫である。
このお話は私がどうやって地域猫になったかというお話。

人間には3つの欲があると言われていたが、
猫には4つの欲がある。
性欲・食欲・睡眠欲・そして日光浴。

私の住むテリトリーには私を含む4匹の野良猫がおり、
この4匹は平和に暮らしていた。

桜が咲く頃、そんな穏やかなダラけた日常に
発情期のシーズンと余所者の猫がやってきた。

縄張り争いの中、
人間によって投下された1つの波乱は1匹の子猫を深く傷つける。

心を固く閉ざした子猫の心を優しく包むのは、
かつて自分自身を含む人間を嫌悪していた一人の青年だった。

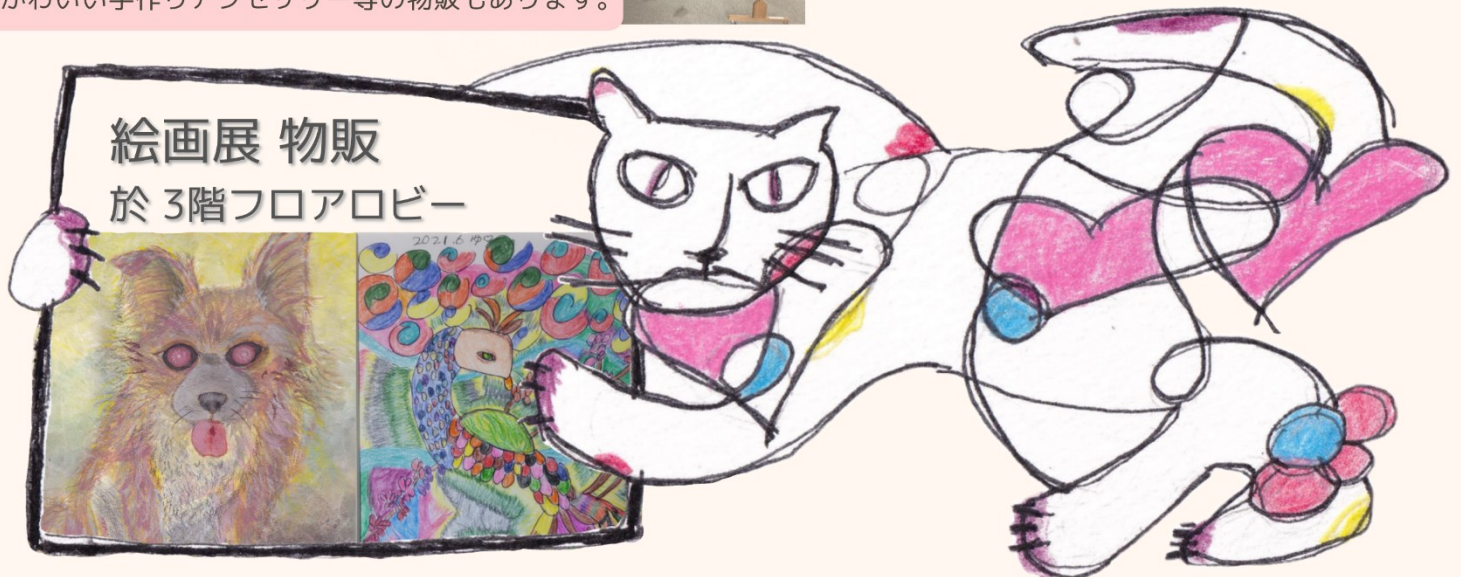
登場人物は全員猫。
人間が描く、猫による抗いと戸惑いと親愛の物語。

〈キャスト〉

日向 桜空
山本 英頼(Actor born project 「廻れ、左。」)
颯斗 (UNlock School)
仲藤 涼花
井口 紀子(Stage office GRACE)
前田 繁之(劇団「M」)
大神 ヨシロウ
永江 佳克(劇団「M」)
香田。(劇団「M」)



動物を題材にした絵画展同時開催！
かわいい手作りアクセサリー等の物販もあります。



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、ご協力ご理解をお願いいたします。 ※館内はマスク着用です。入場の際は、検温・手指消毒を実施いたします。
※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。 ※状況により、延期や中止になる場合があります。電話またはホームページでご確認ください。

主催：福岡市立中央市民センター 指定管理者 株式会社 シンコー
協力：一般社団法人 福岡動物愛護協会